

旧大宮図書館施設活用事業地元説明会 開催結果〈概要〉

■日 時	令和2年10月3日(土) 10:00~11:15
■場 所	大宮区役所 201・202 会議室
■対 象	高鼻町一丁目自治会、高鼻町二丁目自治会、東町二丁目自治会
■出席者数	30名(高一5名、高二23名、東二2名)
■内 容	①事業の概要説明 ②優先交渉権者の決定について ③アンケート ④質疑応答・意見交換

コロナ禍の状況の中、十分な対策を講じた上で説明会を開催いたしました。多くの地域の方々にご参加いただき無事に説明会を終了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

① 事業の概要の説明

- ・大宮駅周辺地域では2010年に策定したまちづくりの将来ビジョン「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」(以下、「戦略ビジョン」という。)に基づき取り組んでいます。
- ・現在は、戦略ビジョンに位置づけられている優先プロジェクトである「公共施設再編による連鎖型まちづくり」に基づき、区役所や図書館の再編、市民会館の再開発ビルへの複合化などを進めています。
- ・公共施設の再編に関する詳しい内容は、「大宮駅東口周辺 公共施設再編/公共施設跡地活用 全体方針」(以下、「全体方針」という。)(2018策定)をご確認いただきたい。
- ・公共施設再編の対象である旧大宮図書館は、昨年5月に移転したことから、今後の取扱いについて様々なパターンについて検討を進めてきました。
- ・〈閉鎖〉〈解体〉〈売却〉〈再利用〉…など様々な方向性がある中、市民参加型のパブリックミーティングや民間事業者へのサウンディングの結果も踏まえ、旧大宮図書館の建物を民間事業者に貸付し再利用を図る方針としました。
- ・事業の実施方針としては次の1)~4)とし、この実施方針に基づき事業者を公募し、最終選考を実施し優先交渉権者が決定しています。



- 1) 実施方針1 貸付方法は公募により普通財産として貸し付ける
- 2) 実施方針2 貸付期間は隣接する市立博物館の今後のあり方が整理されるまでの一定期間とする(最大10年)
- 3) 実施方針3 事業者の選定方法は〈サウンディング型民間提案制度〉+〈公募型プロポーザル〉にて行う
- 4) 実施方針4 施設の用途は〈まちへの貢献機能〉+〈自由機能〉

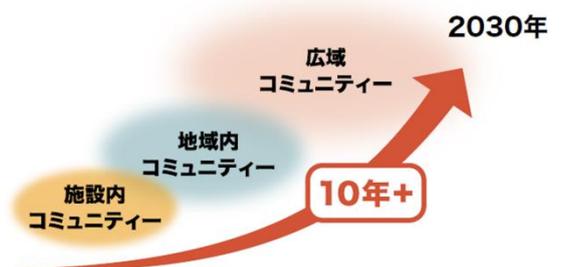


② 優先交渉権者の決定について

- ・ 8月に実施した最終選考会において、優先交渉権者が決定しました。
- ・ 優先交渉権者は〈OMIYA COMMON LIBRARY〉（以下、「OCL」という。）というグループです。
- ・ OCLは、「戸田建設株式会社関東支店」（代表企業）、「戸田ビルパートナーズ株式会社」（ビル管理）、「株式会社キャンプサイト」（設計・タウンマネジメント）、「一般社団法人バイクロア」（イベント・コミュニティづくり）で構成されています。



- ・ OCLからの提案は、観光、地域ビジネス、大宮ブランドの発信、これら3つの目的を達成するため、地域複合施設として旧大宮図書館を10年間運営する、というものでした。
- ・ 今後は、優先交渉権者であるOCLと施設の所有者であるさいたま市が協議／調整を進め、来年度の施設開業に向けて準備を進めます。





イベント時の外部空間の活用イメージ（資料提供：OMIYA COMMON LIBRARY）

③ アンケート

- ・地元説明会当日に実施したアンケートの結果は以下のとおりです。
- ・アンケートの結果は、今後、優先交渉権者との協議／調整に活用させていただきます。
- ・少しでも事業に反映できるよう調整してまいります。

アンケート結果

	設問	Yes (人)	No (人)	Yes (%)
Q1	旧大宮図書館施設活用事業をご存じでしたか？	22	8	73%
Q2	本日まで参加いただいた主な理由は？			
	① 旧大宮図書館がどのようになるか興味がある	30	0	100%
	② このエリアの環境や景観保全に興味がある	24	6	80%
	③ 旧大宮図書館の建物に愛着がある	3	27	10%
	④ 神社や参道周辺の環境保持に興味がある	28	2	93%
	⑤ このエリアの今後のまちづくりに興味がある	28	2	93%
Q3	氷川神社周辺エリアの魅力とは？			
	① 緑豊かな環境	29	1	97%
	② 神聖なる空間	20	10	67%
	③ 大宮公園やスポーツスタジアムによる賑わい	10	20	33%
	④ 魅力的な店舗や施設	0	30	0%
	⑤ 人々の交流	7	23	23%
Q4	このエリアに必要な機能とは？			
	① 自由に使える綺麗なトイレ	20	10	67%
	② 氷川の杜を回遊するための機能	8	22	27%
	③ 飲食店	3	27	10%
	④ 食品店	3	27	10%
	⑤ 物販店	3	27	10%
	⑥ 観光案内	8	22	27%
	⑦ 災害時に役立つ機能	22	8	73%
	⑧ ひとやすみできるスペース	17	13	57%

④ 質疑応答・意見交換

〈このエリアの今後のまちづくりについて〉

- この事業が終わる 10 年後がどのようなになるのか。また、どこまで決まっているのか。
 - 全体方針に定めたとおり、隣接する市立博物館との一体的に土地活用すること前提に、このエリアにふさわしい魅力的な土地活用を進める予定です。
 - なお、全体方針に定められていること以上の内容はまだ決まっていません。
- 資産は処分せず、活用していく方針か。
 - 公共施設の再編によって生み出された公共施設跡地などは、まちづくりに活用できる可能性のある物件は、処分せずに積極的に活用していきたいと考えています。
- このエリアから図書館が移転し、地域の魅力や地元市民の誇りが奪われてしまったように感じる。この事業でそれらを改善できないか。
 - 今回の旧大宮図書館施設活用事業を進めていく中で、それらの思いに少しでも対応できるよう最善を尽くしてまいります。

〈施設に導入する機能について〉

- ひとやすみできるスペースを導入する場合は、Free Wi-Fi も利用できるにしていきたい。
 - いただいたご意見を参考にし、調整してまいります。
- 貸出し、返却などの図書館の機能を導入できないか。
 - 現時点で、図書館の機能を導入する計画はないが、いただいたご意見は図書館を管轄する部門へ報告し、検討していただきます。
- 昨年度の待機児童数がさいたま市は高い水準であるときく。これらの問題解決に向けて、この施設に保育施設を導入するべきではないか。
 - OCL からの提案では、保育施設を導入する予定となっています。
- 神社や公園、スタジアムに多くの人々が訪れるのだから、オープンで明るい憩いの場となるように〈トイレの充実〉〈参道沿いにふさわしいエントランス〉〈オープンテラス〉など時代を先取りするデザインで整備してほしい。(後日 FAX にて受付した御意見です)
 - 私たちも同様の思いでこの事業に取り組んでいます。少しでもご期待に応えられるよう調整してまいります。

〈道路や交通処理等について〉

- この事業において、施設に集客機能が導入されると交通渋滞や交通事故などが懸念されるが、どのような考えか。
 - 旧大宮図書館周辺の道路などのインフラの整備の状況としては、年末年始やお祭りなどのイベント時などにおいては十分とは言えない状況であることは認識しています。
まず、現状の道路環境については、道路の整備や管理を担当する部門へいただいた御意見をお伝えし、対応を検討していただきます。
また、本事業の計画の具体化にあたって、施設構成が周辺の交通環境に影響を与えることが極力ないよう調整してまいります。

○旧大宮図書館周辺の道路は、車や自転車、歩行者が錯そうしとても危険な状況となっているため対応できないか。

→ 現状については、道路の整備や管理を担当する部門と調整します。

なお、本事業においても周辺の道路環境に配慮して計画していく考えです。

○施設の開業によって周辺の渋滞が懸念される。駐車場を近隣に整備することなどで、このエリアへの車両の進入を軽減することなどが必要ではないか。

→ この事業に併せて周辺に駐車場を整備することは困難ですが、事業の実施にあたっては道路環境には十分に配慮していく考えです。

○旧大宮図書館の西側道路が凸凹で困っている。来年度には一部を修繕してもらう予定だが、範囲を拡大できないか。

→ いただいたご意見は道路補修を管轄する部門へ報告し、対応を検討していただきます。

〈その他〉

・旧大宮図書館やその駐車場の所有者はだれか。

→ さいたま市が所有しています。

・近隣に立地するさいたま市の温浴施設：あずま荘の今後も検討していただきたい。

→ 今回の旧大宮図書館施設活用事業にあずま荘の機能を導入する予定はないが、将来的に旧大宮図書館と市立博物館を一体的に活用する際には、あずま荘の機能移転も含めて検討する予定です。

以上、旧大宮図書館施設活用事業地元説明会の概要となります。事業に関するご意見・ご質問等は下記問合せ先までお願いいたします。引き続き旧大宮図書館施設活用事業に御協力のほどお願いいたします。

〔問合せ先〕

さいたま市都市局都心整備部

大宮駅東口まちづくり事務所 事業推進係 大沼、福田

TEL : 048-646-3289 FAX : 048-646-3292

E-mai : omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp